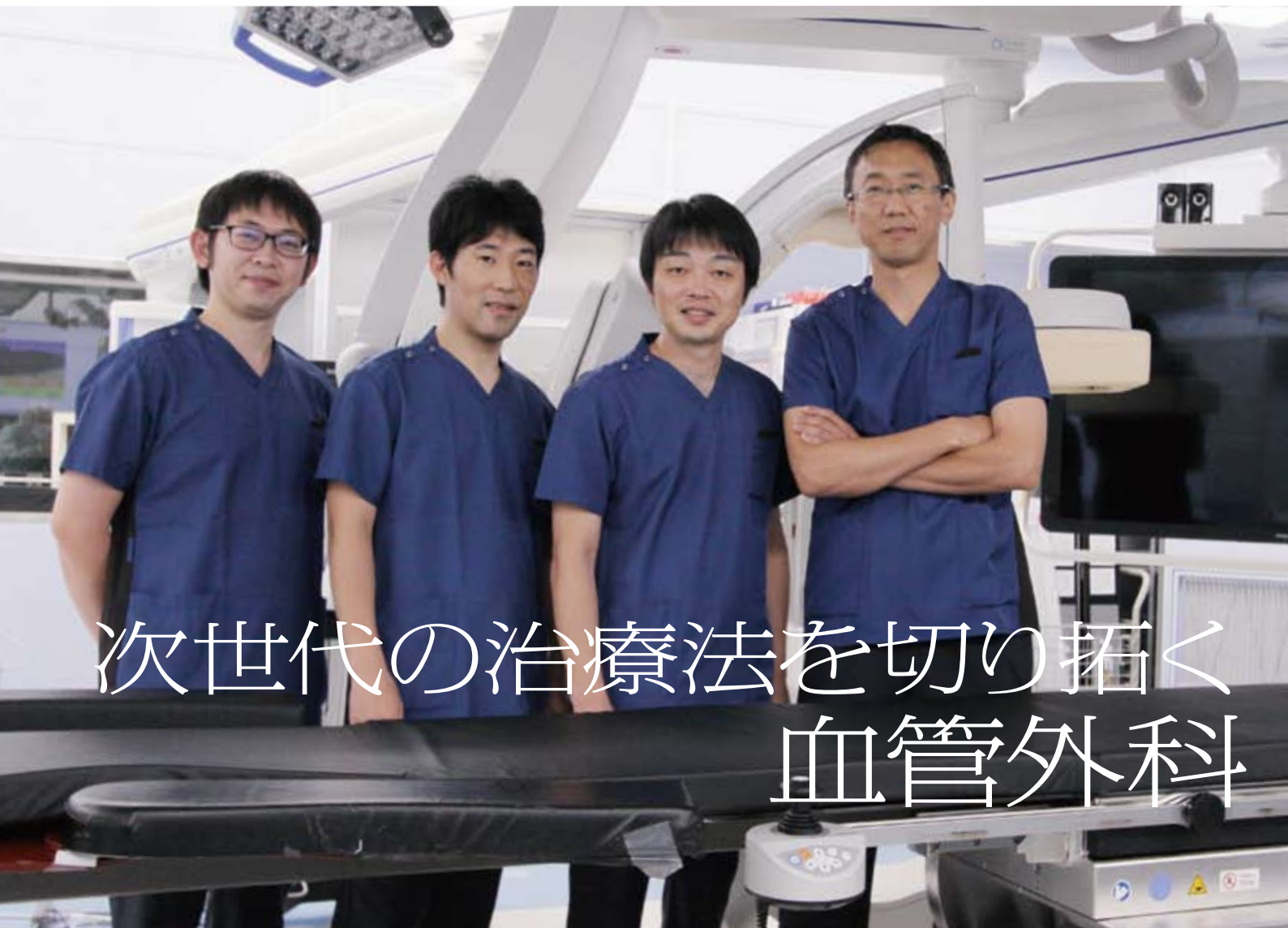


# につせき ぬくもり通信

vol. **58**  
2019 October

人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。



## 次世代の治療法を切り拓く 血管外科



新病院完成予定 2022

①〈診療科紹介〉

### 血管外科

血管外科は血管の病気の  
エキスパート

②第15回地域医療連携  
フォーラム

③ロコトレ

④〈連携病院〉  
増田病院

⑤インフォメーション&  
ニュース

⑥外来診療担当医表



# 血管外科は血管の病気のエキスパート

## Profile

松山赤十字病院  
血管外科 部長

**山岡 輝年** Terutoshi Yamaoka

1971年生まれ、福岡県出身。1996年に佐賀医科大学医学部卒業。九州大学病院、新日鐵八幡記念病院、福岡市民病院などを経て、2006年に第二外科副部長として松山赤十字病院に赴任。2010年に血管外科副部長、2011年より現職。

血管外科 / 【医師】3名 【看護師】5名 【事務】2名 【DA】1名

## 高齢化とともに増加する閉塞性動脈硬化症

血管外科では血管に関する病気の治療を行っています。四肢の血管が狭くなったり詰まったりすることで血流が悪くなり、四肢の循環障害が起こる『閉塞性動脈硬化症』、腹部の一部が拡張し、破裂すると死に至る可能性の高い『腹部大動脈瘤』、下肢の静脈が正常な機能を失い、血液が逆流してコブ状に拡大する『下肢静脈瘤』、足の筋肉の中を通る静脈に血栓

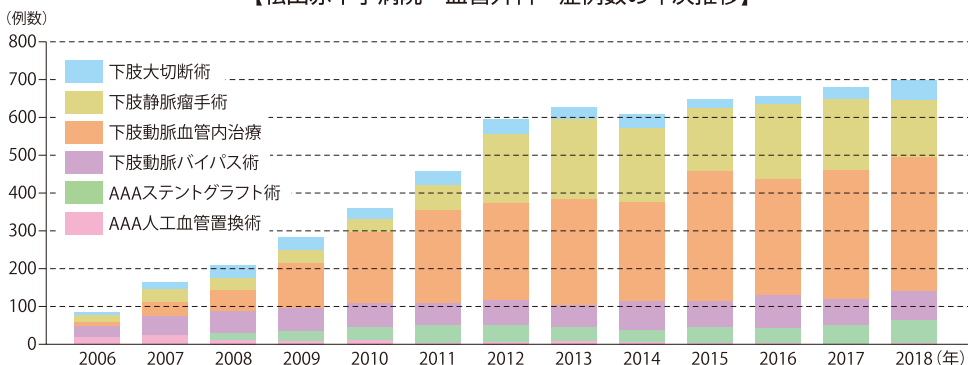
ができる『深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群など）』といった病気が主なものです。

「下肢静脈瘤などの比較的簡単な治療も多いのですが、松山赤十字病院の血管外科で最も多いのは閉塞性動脈硬化症の治療です。年間約300～350件の手術を行っています。患者さんは動脈硬化であるという自覚はなく、通常足の痛みや違和感を感じて受診し、血管外科を紹介される場合がほとんどです。近年、足の動脈硬化が非常に増えてきていますが、それ

は糖尿病と深い関係があると考えられています。その他にも腎臓病の患者さん、高血圧の方など生活習慣病を患っている場合、動脈硬化になりやすいと言えるでしょう」（山岡輝年部長）

年齢とともに血管も老化していくため、高齢化が進めば動脈硬化の患者さんは増加します。生活習慣を改めるといった努力も必要ですが、予防をしても避けられない場合もあります。治療すれば完治するという病ではないものの、今より悪化しないよう病気の進行を防いだり、それに伴う疾患を予防することは可能です。重篤な状態になれば、足の切断や命の危険にもつながりかねませんので、早期発見・早期治療が大切です。

【松山赤十字病院 血管外科 症例数の年次推移】



## 最先端の機器の導入によって地域の医療を牽引

動脈硬化と診断された場合、症状によって治療法が異なります。ごく初期の場合は経過観察という選択肢もありますが、

検査で血行を改善する必要があると判断した場合はカテーテル治療とバイパス手術があります。カテーテル治療は足の付け根や肘の動脈から管（カテーテル）を通してバルーンで血管内部を広げたり、ステントと呼ばれる金属を置いて血流を改善させるものです。2～3日の入院で治療が行えるため、患者さんにとって負担の少ない方法と言えます。カテーテル治療の対象にならない場合、バイパス手術を行います。人工血管と静脈グラフトという方法があり、状況や場所によってどちらかを選択します。

血管の治療自体は血管外科で完結しますが、動脈硬化の起因となっている診療科〔循環器内科・腎臓内科・腎センター（透析室）・糖尿病内科など〕とも密に連携しています。さらに、エコーを撮る臨床検査技師との意見交換も頻繁に行っています。

「特に動脈硬化に関して当院は、多くの患者さんのデータを取り、この研究に大いに貢献しています。そのため他の医療機関からの紹介も多く、県内だけでなく県外からも患者さんが受診されます。今までの実績や病院の規模といった部分での評価もあり、当院では“臨床治験”という形で、次世代の新しい医療器具をいち早く使うことができます。医療は技術はもちろんのこと、ハード面の充実も重要です。最先端の医療器具が使えることは患者さんのため、さらには地域の医療の発展にもつながります」

新病棟が完成したことで、ハイブリッド手術室などの設備が充実しました。現在、九州大学と共同で『治療的血管新生療法』という遺伝子治療にも取り組んでいます。

「新しい治療法を切り拓き、次世代の医療につなげていくことが私たちの使命だと考えています」



臨床検査技師を交えたカンファレンスの様子



## 第15回地域医療連携フォーラム

8月25日(日)、「医療連携最前線」をテーマに開催いたしました。第1部の「少子化時代の子育て支援と医療連携」では、ハイリスク分娩に対する当院の取り組みや、妊娠中から出産後まで心理面の支援を行う育成医療カウンセラーの活動等について紹介いたしました。第2部「超高齢化時代の新しい医療の仕組み」では、愛媛県医師会常任理事窪田理先生をお招きし、地域の医療機関を結ぶ医療連携ネットワークについてご講演いただきました。多数のご来場ありがとうございました。



4足歩行から2足歩行の動物に進化した人間は、地面に接する部分が足底のみとなり、足の指は全身を支える土台となりました。転倒予防の一つとして、足の指は、曲げ伸ばしができ、よるめいたら踏ん張り、歩くときはしっかり地面を蹴る、などうまく使える状態にしておくことが大切です。そこで今回はちょっと地味で忘れがちですが、大切な足の指を鍛える体操を紹介します。

### ① 足指じゃんけん：20回を1セット、1日2セットを目標に行いましょう。



グー

指の付け根の関節からしっかり曲げます。



チョキ

親指と人差し指を引き離すように広げます。



パー

全ての指が離れるように広げます。

### ② タオルギャザー：10回を1セット、1日2セットを目標に行いましょう。



- ①床の上にタオルを置きます。
- ②タオルの端に足の裏全体がしっかり着くように置きます。
- ③踵が浮かないように足指全体でタオルを手繰り寄せます。
- ④足の甲が丸くなるようにしっかり寄せましょう。

※慣れたらタオルの端に重りを置くなどして難易度を上げていきましょう。  
※難しい方は、足の指でビー玉や太いボールペンなどをつかむ練習から始めてみましょう。



連携病院

# 増田病院

このコーナーでは、患者さんが地域でより良い医療を受けられるよう、当院と連携・協力している医療機関をご紹介します。



増田 公彦 院長

医療法人 一朋会 増田病院

- 住 所：松山市山越3丁目5-24
- 電 話：089-924-7804
- 休診日：日曜、祝日、年末年始
- 診療科目：内科、外科、整形外科、リハビリテーション科

また、上部内視鏡検査による胃がん検診やその他の健康診断、訪問診療、訪問リハビリなどの在宅医療にも力を入れており、これまで以上に地域と密着して皆様に愛される病院を目指していきたいと考えています。

私たちの病院は、昭和41年の開設以来、高齢者の方々に優しさを持った看護、介護及びリハビリテーションを中心とした心と体のケアを行うとともに、地域に密着した医療を行ってきました。平成12年からは、「医療療養病床(34床)」を中心とした医療サービスを提供することにより、住み慣れた地域で最期まで入院生活を送ることが出来るように努めてまいりました。平成30年7月からは、新たに「地域包括ケア病床(16床)」を増設し、これにより軽症患者様や、松山赤十字病院様を始めとする急性期病院での治療後、すぐに自宅や施設へ退院するには不安がある方に対し、リハビリや退院支援などを行えるようになりました。

## 患者の皆様の権利

私たちは、患者の皆様の権利を尊重した医療の提供に努めます。

- ① 人権を尊重される権利**  
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重される権利があります。
- ② プライバシーを保護される権利**  
院内でのプライバシーが守られる権利、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
- ③ 公平で最善の医療を受ける権利**  
良質な医療を公平に受ける権利があります。
- ④ 医療に関して知る権利**  
診療に関して、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また診療に関する情報について聞かない権利もあります。ご自分の診療記録(カルテ)の開示を求める権利があります。
- ⑤ 医療行為について選択し決定する権利**  
十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択、または拒否する権利があります。この病院以外での診療を希望する権利、他施設の医師の意見を聞く権利があります。(セカンドオピニオン)

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。



赤十字のさまざまな人道支援活動を継続的に行うためには皆さまからの寄付が必要です。ご協力よろしくお願ひします。  
お問い合わせ先：日本赤十字社愛媛県支部(☎089-921-8603)

## 新病院部門紹介

### ICU

2018年1月に北棟3階へ移動し、早いもので約1年半が経ちました。病床数は以前と同じフロアに4床です。外科系を中心に昨年度は559名の方が入室されました。2021年3月の南棟完成時にはCCUと併し12床になる予定です。

以前より手術室とのアクセスがよくなり、救急センターや放射線部門も近く、安全・迅速に移動ができるようになりました。ベッド周りも広く、様々なME機器も配置しやすくなっています。入退室時の移乗も余裕をもって安全に実施できます。また、生体モニタリングシステムが電子カルテと連動し、一部データがカルテ上でタイムリーに把握できるようになり、記録時間も短縮されました。

毎朝のカンファレンスには、医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士・薬剤師など様々な職種が参加しています。患者さんが1日でも早く一般病棟へ戻れるよう、チーム一丸となって専門の治療に取り組んでいます。



### 基本方針

- ① 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
- ② 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
- ③ 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
- ④ 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
- ⑤ 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
- ⑥ 一人ひとりが生き生きとし、働きたい病院を目指します。
- ⑦ 健全経営の維持に努めます。

## 初診の診療受付

受付時間…午前8時30分～午前11時

### 紹介状をお持ちください

よりスムーズに当院での検査や入院治療を受けていただくために「紹介状」をお持ちください。お持ちいただけない場合でも診療を受けられますが、その際診療料金の他に、初診の場合は5,500円(消費税込)、再診の場合は2,750円の「選定療養費」を別途お支払いいただくこととなります。

### 紹介状のある患者さんに係る診療受付時間

午後3時まで受付可能な診療科											
内科	月	火	水	木	金	眼科	月	火	水	木	金
肝胆膵センター	月	火	水	木	金	血管外科	月	火	水	木	金
消化器内科	月	火	水	木	金	皮膚科	月	火	水	木	金
小児科	月	火	水	木	金	脳神経外科	月	火	水	木	金
放射線診断科	月	火	水	木	金	呼吸器外科	月	火	水	木	金
放射線治療科	月	火	水	木	金	小児外科	月	火	水	木	金
腎臓内科	月	火	水	木	金	心臓血管外科	月	火	水	木	金
循環器内科	月	火	水	木	金						
外科	月	火	水	木	金						
午前11時までの診療科											
産婦人科	月	火	水	木	金	脳神経内科	月	火	水	木	金
耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	(もの忘れ外来は数日を除く)					
リウマチ科	月	火	水	木	金	形成外科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	月	火	水	木	金	歯科口腔外科	月	火	水	木	金
整形外科	月	火	水	木	金	泌尿器科	月	火	水	木	金
乳腺外科	月	火	水	木	金	麻酔科	月	火	水	木	金

注)いずれの診療科も緊急を要し、患者支援センターを通じた患者さんに限ります。緊急を要しない患者さんの受付は従来通り午前11時までとなります。

■小児科・産婦人科のみ電話による予約制(初診の場合)  
 予約受付時間…午後2時～4時(時間厳守願います)  
 ☎089-924-1111

## 休診日のお知らせ

休診日…土曜・日曜・祝日

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						5							1
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

■のついた日は休診日です。

## 令和元年度 赤十字健康大学が開講しました



平成3年度から毎年実施しており、今回で29回目となる赤十字健康大学が、9月21日(土)、開講しました。今回は「健やかに生きるための健康学」をメインテーマとして、2月まで毎月1回、(計6回)様々な健康学に関する講義を行います。

講師は当院の医師が担当します。

本年も多数の受講申し込みがあり、地域の皆様の健康に対する関心の高さがうかがわれました。

※本年の受講申し込みは終了いたしました。

開講日	テーマ	講師
9月21日(土)	認知症について	神経内科部長 池添 浩二
10月26日(土)	腰・膝の痛みについて	第二整形外科副部長 志摩 隆之
11月16日(土)	難聴について	耳鼻咽喉科部長 有友 宏
12月21日(土)	老化と皮膚の病気について	皮膚科部長 南 満芳
1月25日(土)	健康を守る食生活	第二内科部長 近藤しおり
2月15日(土)	がんについて(予防と早期発見)	健診部長 村上 一雄

## 2019年度 赤十字各種講習会のご案内



日本赤十字社では、救急法・健康生活支援講習・幼児安全法・水上安全法の各種講習を行っています。

赤十字愛媛県支部で事故や災害発生時にすぐに役立つ応急手当法やよりよい健康生活を送るための知識を学びませんか。

講習		開催日等		日数	時間	教材費
救急法	基礎講習	11月	7日(木)	1日間	10:00 ～ 16:00	1,500円
		12月	4日(水)			
救急法	養成講習	11月	2日(土) 3日(日)	2日間	10:00 ～ 17:00	1,700円
		11月	13日(水) 14日(木)			
		12月	11日(水) 12日(木)			
健康生活支援講習	養成講習	12月	1日(日) 7日(土) 8日(日)	3日間	10:00 ～ 16:00	900円
幼児安全法	養成講習	11月	17日(日) 23日(土)祝 24日(日)	3日間	10:00 ～ 16:00	1,800円

◆お問い合わせ…日本赤十字社愛媛県支部  
 〒790-0854 松山市岩崎町2丁目3-40  
 TEL:089-921-8603/089-945-6792 HP:http://ehime.jrc.or.jp/

松山赤十字病院公式 facebook 公開中!

ぜひ「いいね!」をよろしくお願いします。

松山赤十字病院 フェイスブック 検索

# （ 外来診療担当医表 ）

再診…全診療科予約制です

		月	火	水	木	金
<b>● 内科</b>						
総合内科		山本(上田)	實藤(松原)	甲斐(藤崎)	渡部(上田)	多保(岡田)
糖尿病内分泌	1診	岡田	近藤	近藤	近藤	吉田
	2診	能美	土居	岡田	山本	岡田・山本
高血圧		土居	福岡	福岡	土居	福岡
血液		藤崎・上田 徳山・浦田	上田・坂本 松原	藤崎・波呂 徳山	藤崎・上田 浦田・松原	波呂 坂本
糖尿病教室 毎週水曜日10:00~12:00(糖尿病患者チーム)						
<b>● 肝胆膵センター</b>						
午	前	上甲・眞柴 畔元 越智	上甲 横田 越智	畔元 越智 青野	横田・眞柴 佐藤(第1・3・5) 實藤(第2・4)	上甲 横田 眞柴
	後	多保	上甲 越智	青野 畔元	眞柴 佐藤(第1・3・5) 實藤(第2・4)	上甲 横田・眞柴
<b>● 胃腸センター(消化器内科)</b>						
外来部門	新患兼院外紹介	午前	藏原	池上	平田	藏原
	再診予約兼院外紹介	午後	清森	藏原	末永	浦岡
	新患兼予約	午後	村田	清森	八坂	末永
	炎症性腸疾患	午後	浦岡	—	浅野	—
検査部門	午 前	上部消化管内視鏡および造影検査				
	午 後	小腸大腸内視鏡検査および内視鏡治療				
<b>● 循環器センター</b>						
循環器内科	新患	堀本	古川	盛重	松坂	中城
	予約	午前	盛重	—	—	堀本
		午後	—	—	—	—
心 外	午前	神尾	—	梅末	—	松坂
<b>● 呼吸器センター</b>						
呼吸器内科	新患(外来)	牧野・梶原・田口	兼松	牧野・甲田・兼定	梶原	兼松
	新患(入院)	甲田	田口	兼松	牧野	梶原
	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
呼吸器外科		—	吉田・藤下	—	横山・藤下	横山・吉田
検査・手術		手術	気管支ファイバー	手術	気管支ファイバー(手)	気管支ファイバー
<b>● 腎臓内科</b>						
初・再診		上村・岡(第2・4)	上村・岩本	—	上村・福満	岡・平島
<b>● 脳卒中・脳神経センター</b>						
脳神経内科	午前	池添・千崎	池添・江	池添・千崎	池添・藤下	池添・江
	午後	—	もの忘れ外来	もの忘れ外来	—	—
※もの忘れ外来:完全予約制(1日最大2名)、紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。						
脳神経外科		梶原・三好	武智・渡邊	手術	梶原・三好	武智・渡邊
※水曜日は手術日につき担当医での診察になります。						
<b>● 小児科</b>						
午 前	高岩・担当医	近藤・松本	鈴木・西崎	高岩・上田・三好	近藤・宮本	
アレルギー	午前	津下(第2・4)	—	片岡	—	片岡PM
神 経	午前	眞庭	眞庭	中野	眞庭	中野
	午前	担当医(循環器)	米澤(血液)	上田(漢方)	—	米澤(血液)
<b>● 産婦人科</b>						
産 科	9:00~	久保・梶原	本田・中島	久保・山口	高杉・上野	片山・梶原
婦 人 科	12:00	片山・山口	上野・高杉	梶原・上野	中島・久保	横山・山口
※水曜日は10:30から診察いたします。						
産科・婦人科		午後	—	—	—	横山
午前 / 午後		手術	手術	午後/手術	手術	手術
午 後		ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来	ハローママ外来
<b>● 外科</b>						
午 前	谷口	二宮(肝)・富野(肝)	南・眞藤・的野(肝)	西崎(肝)・梶原	西村	
午 後	—	スーパマ外来	—	—	—	
		—	—	—	緩和ケア外来	—

※令和元年10月1日から、標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」へ変更しました。これは、日本神経学会における標榜診療科名の変更に伴うものであり、診療内容、医師の体制等に変更はありません。

		月	火	水	木	金
<b>● 乳腺外科</b>						
午 前	川口(再診)	川口(AM・PM)	西村(AM・PM)	—	川口	
<b>● 血管外科</b>						
		山岡(再診) 本間(新患) 松田	—	—	山岡(新患) 本間(再診) 松田	—
<b>● 臨床腫瘍科</b>						
午 前	白石	白石	白石	白石	白石	
午 後	—	白石(新患のみ)	白石(新患)	—	白石(新患)	
<b>● 小児外科</b>						
午 後	野口	—	野口	—	野口	
<b>● 整形外科</b>						
		中城(股) 大前(肩) 金田	野田(脊) 志摩(脊) 江口(膝) 森脇	梶原(手・肘) 大前(肩) 江口(膝)	中城(股) 志摩(脊) 大島(股関節) 中山	野田(脊) 梶原(手・肘) 大島(股関節)
※(手)手の外科、(肘)肘関節外科、(脊)脊椎外科、(膝)膝関節外科、(肩)肩関節外科、(股)股関節外科、(足)足の外科						
<b>● リハビリテーション科</b>						
		田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)
<b>● リウマチ膠原病センター</b>						
リウマチ科	水木	手術	水木	水木・池内	池内	
内 科	押領司・三嶋	押領司・三嶋	押領司・山崎	三嶋	甲斐・平岡	
<b>● 泌尿器科</b>						
午 前	田丁・(藤井)	田丁・矢野 白戸・藤方 郷力	田丁・矢野 白戸・藤方 郷力	矢野	田丁	
午 後	—	予約検査	予約検査	—	第13ストーム外来	
※月・木・金曜日は手術日につき、上記の診療担当医が変更することがあります。						
<b>● 耳鼻咽喉科</b>						
午 前	上田 浅山・有友	篠森 上田・浅山	眞田・中田(10/2~) (担当医が変更の場合あり)	篠森 浅山・有友	勢井 (担当医が変更の場合あり)	
	—	—	手術	—	手術	
午 後	—	検査(透視)	手術	検査(透視)	手術	
※水・金曜日は手術日につき、予約の患者さん及び紹介状をお持ちの初診の患者さんのみ診察いたします。						
<b>● 眼科</b>						
午 前	児玉 小川	野田 田原	上甲 田原	上甲・小川 依光	児玉・田原 野田	
午 後	児玉 小川	野田 田原	上甲	上甲 小川	野田	
※当面の間、新患は紹介状をお持ちの方のみ診察いたします。						
<b>● 皮膚科</b>						
		南	南	岩坂	南	南
<b>● 形成外科</b>						
		庄野・中川	庄野・中川	庄野・中川	庄野・中川	手術
※金曜日は手術日につき外来診療はありません。						
<b>● 麻酔科</b>						
		安部・彭	—	安部(午前)	—	安部・伊東
<b>● 心療内科・精神科</b>						
※当面の間、外来診療については休診いたします。						
<b>● 放射線診断科</b>						
新 患	菊池	菊池	菊池	菊池	菊池	
予 約	松田	松田	松田	松田	松田	
<b>● 放射線治療科</b>						
放 射 線 治 療	浦島	—	浦島	—	浦島	
<b>● 歯科口腔外科</b>						
口 腔 外 科	寺門	寺門	—	寺門	寺門	
歯 科	兵頭	兵頭	兵頭	兵頭	兵頭	
歯 科 ・ 口 腔 外 科	岩本	岩本	—	岩本	岩本	
※紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。						
※水曜日は手術日につき初診の診療はありません。						

※担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。(令和元年10月1日現在)

編集・発行 令和元年10月1日発行

松山赤十字病院

〒790-8524 愛媛県松山市文京町1番地 TEL 089-924-1111(代) FAX 089-922-6892



松山赤十字病院  
ホームページ



松山赤十字病院  
携帯サイト



松山赤十字病院  
公式facebook